

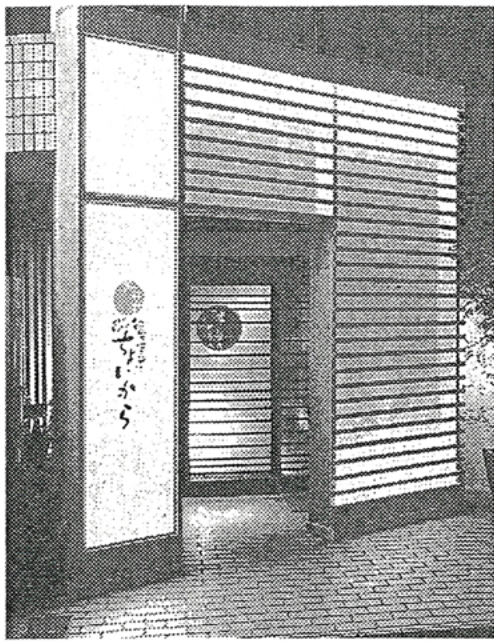
大和工芸 「ファサード」施工強化

個人飲食店向け拡充

集客力向上をアピール

ディスプレイ業の大和工芸（本社名古屋市中川区押元町一ノ八七、市橋正行社長、電話052・361・5561）は、建物の入り口周辺を改装することで店舗の印象や集客力の向上を狙う「ファサード」施工の受注を強化する。飲食業界など法人向けに提案を行ってきたが、近年、飲食業を中心に個人による店舗も増加している。今後は個人オーナーへの提案にも力を入れていく。

（中山陽子）



ファサードは、建物正面の外観を指すことば。看板を含めた入り口周辺に手を加えることによって、店舗イメージの変化・向上を図り、集客力を高めることができる。限ら.....
入り口周りを改装し、イメージや集客力の向上を狙う
（施工事例）

れた予算の中で、短時間に高い費用対効果を生む点がメリットといえる。同社は二〇〇五年ごろから「建物の顔」とも呼べる部分の改装に注力してきた。企画、設計、施工まで一貫して手がけている。業種業態を問わず導入可能だが、法人運営の飲食業界を中心に採用

実績を増やしてきた。これに加えて、旺盛な開店・運営意欲を持っている個人向けにも改装の提案を行っていくことにした。

市橋社長は「アンテナショップとして関東圏に店を構えるケースも増えてきた。今後も地域を問わず、ニーズに応じていく」としている。